

# 社会人基礎力協議会News



一般社団法人  
社会人基礎力  
協議会

第1号 2019年6月1日発行

## 1 社会人基礎力協議会News発刊に寄せて

社会人基礎力協議会代表理事 多摩大学 教授 村山貞幸

「社会人基礎力」は、2018年に「人生100年時代の社会人基礎力」として新たなスタートを切りました。従来の3能力/12能力要素を内容としつつ、「人生100年時代」ならではの切り口として3つの視点（何を学ぶか、どのように学ぶか、どう活躍するか）が加えられました。社会人基礎力協議会は、この「人生100年時代の社会人基礎力」を研究、普及することを目的に、経済産業省と強く連携し、産官学の協働でさまざまな活動を推進します。調査・研究、関連情報の発信、「社会人基礎力育成グランプリ」や各種研究会の開催など幅広い活動を、あらゆるライフステージの方々や各種組織に向けて実施していきます。

この度、活動の一環としてニュースレターの発行を開始いたします。読者の皆様の多様なニーズに応えられるようさまざまな情報を提供していきたいと考えております。皆様と共に価値あるニュースターを配信していきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



出典：「人生100年時代の社会人基礎力パンフレット」経済産業省

## 2 社会人基礎力協議会とは

「社会人基礎力」育成事業の一環として、2007年度に全国の大学における「社会人基礎力」の育成事例とその成果を学生チームが発表する「社会人基礎力育成グランプリ」が開催されています。

7校で始まったグランプリの参加チームは、40校、53校と年々増え、主催者が経済産業省から日本経済新聞社に替わった2012年度には、100チームを超えるまでの大きなイベントになりました。

諸事情により「社会人基礎力育成グランプリ」の実施を取りやめることがこれまでの主催団体によって発表されたのを受け、社会人基礎力育成に関心のある大学教員有志がグランプリの継続的な開催とそれに関わる事業を引き継ぐために、2013年9月に「社会人基礎力協議会」を組織しました。

当協議会は、「人生100年時代の社会人基礎力」のスタートとともに、2018年4月に一般社団法人となりました。

これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる「人生100年時代の社会人基礎力」育成の調査・研究・普及活動を通じ社会に貢献いたします。

### 「社会人基礎力」の定義 (3つの能力・12の能力要素)

平成18年1月に経済産業省が主催した産学の有識者による委員会(座長：諏訪康雄法政大学大学院教授(当時))により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(=3つの能力・12の能力要素)」として定義。

#### 前に踏み出す力(アクション)

一歩前に踏み出し、  
失敗しても粘り強く取り組む力

- 【主体性】 物事に進んで取り組む力
- 【実行力】 目的を設定し確実に行動する力
- 【働きかけ力】 他人に働きかけ巻き込む力

#### 考え抜く力(シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力

- 【課題発見力】 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 【計画力】 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 【創造力】 新しい価値を生み出す力

#### チームで働く力(チームワーク)

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

- 【発信力】 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 【傾聴力】 相手の意見を丁寧に聴く力
- 【柔軟性】 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 【状況把握力】 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 【規律性】 社会のルールや人との約束を守る力
- 【ストレスコントロール力】 ストレスの発生源に対応する力

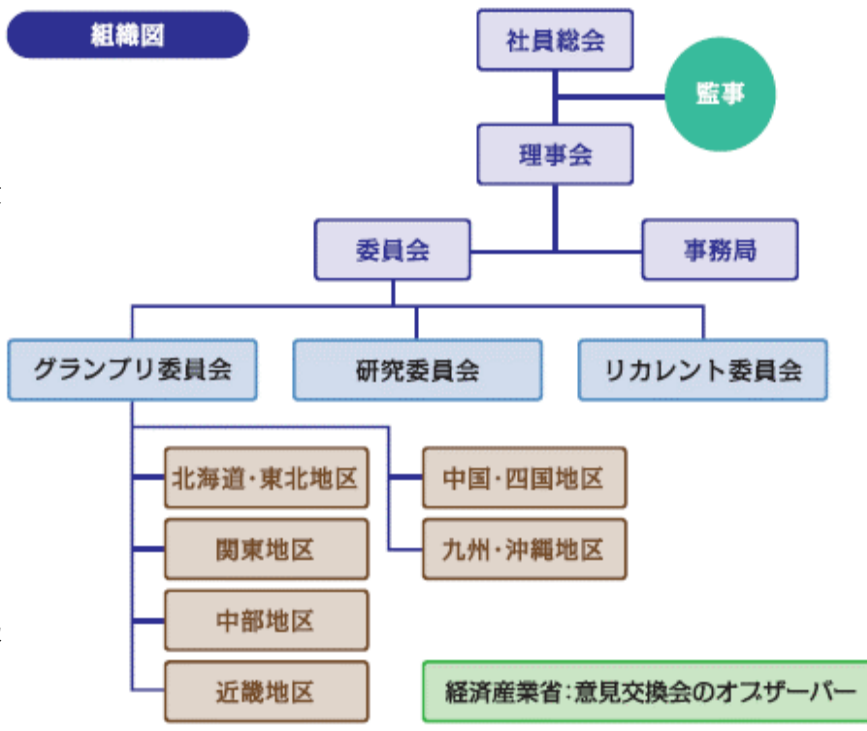
出典：一般社団法人社会人基礎力協議会ホームページ

### 3 社会人基礎力協議会 3つの委員会とは

当協議会には、グランプリ委員会、研究委員会、リカレント委員会の3つの委員会があります。

#### グランプリ委員会

社会人基礎力育成グランプリの大会実施を事業の柱とした委員会です。委員会メンバーは主に大学教員から構成され、各地区の予選大会の運営を担当しています。大会の開催は毎年2月の全国大会を目標に、全国6地区（北海道・東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中国・四国地区、九州・沖縄地区）で予選大会を行っています。会場設営、審査員の選任など、各地区の経済産業局に協力いただきながら運営しています。社会人基礎力育成グランプリは平成18年度に始まり、昨年度大会で13回目となりました。途中、平成25年度大会より本法人の前身となる社会人基礎力協議会（任意団体）による有志組織でその運営を引き継ぎ開催してきました。本委員会としては、昨年度が初めての運営となりました。今後も大会運営を通して、社会人基礎力の著しい育成を遂げた学生らを表彰するとともに、各大学での社会人基礎力育成への取り組みに関する情報発信に努めます。  
（委員長 公立諏訪東京理科大学教授 市川純章）



#### 研究委員会

社会人基礎力についてのケーススタディ、調査、研究等について、データを集約し、それぞれの職場、教育現場、地域社会で活かしていただくための情報発信を行います。ニュースレターの発行（年3回）、ジャーナルの発行（年1回）、研究会の開催などが主な活動です。2019年度のジャーナルは、創刊号となります。「社会人基礎力」の実践例や研究成果などを皆様から広く募集しますので、募集要項をご覧ください。令和元年の新しい時代における「人生100年時代の社会人基礎力」の普及にご支援、ご協力をお願い申し上げます。（委員長 拓殖大学教授 長尾素子）

#### リカレント委員会

「リカレント」は、永年「人材育成」に取り組んできた筆者にとっても、なじみの薄い言葉です。一方「人生100年時代」が浸透し、人生の節目毎（ライフステージ）の、「リフレクション（振り返り）と気づき」が提案されて、企業で取り上げる「人生設計とキャリアデザイン」に通じる姿が見えてきます。リカレントは「反復・回帰・循環」と訳され、その具現策の「リカレント教育」が着目されています。長寿社会が「人生100年時代」に衣替えて、前向きで躍動的な「輝く人生」を目指し始めています。日本企業の人材育成は終身雇用を前提に「地産地消」型の自前の人づくりで、定年後は自己責任人生を誘導してきた、これを「日本型リカレント教育」（欧米型／仕事を中断して学びまた働く）とすると、「働きながら学ぶキャリアオーナーたる生涯現役を持続的に育てる学習体系」を産学公で構築していくことが「リカレント委員会」の使命です。（委員長 芝原脩次）

### 4 2019年度事業計画

2019年度事業は、3つの柱で進めます。

#### 社会人基礎力育成グランプリの開催

グランプリ委員会によって「社会人基礎力育成グランプリ」を開催します。5月に開催告知、6月より受付開始予定です。10月に受付締切後、12月地区予選大会、翌2月に全国大会というスケジュールで準備中です。詳細は決定次第、HP等にてご案内申し上げます。

#### 社会人基礎力に関わる好事例や取組の普及事業

研究委員会によって各種情報発信を強化します。4月よりジャーナルへの投稿募集を開始、10月に締め切って翌2月発行予定です。ニュースレター「社会人基礎力News」は、この第1号に始まり、年3回程度発行します。

#### 社会人基礎力育成の調査・研究に関する事業

リカレント委員会および研究委員会によって、調査・研究活動予定です。活動へのご協力依頼、および、活動成果の情報発信を随時行いますので、よろしく申し上げます。

年月	主な活動
2019年4月	ジャーナル募集開始
5月	社会人基礎力育成グランプリ開催告知
6月	社会人基礎力育成グランプリ受付開始 ニュースレター創刊号発行
7月	
8月	
9月	ニュースレター第2号発行
10月	社会人基礎力育成グランプリ受付締切 社会人基礎力研究会開催 ジャーナル投稿締切
11月	
12月	社会人基礎力育成グランプリ地区予選大会開催
2020年1月	ニュースレター第3号発行
2月	社会人基礎力育成グランプリ全国決勝大会開催
3月	ジャーナル発行

## 5 2018年度 社会人基礎力育成グランプリ 結果報告

2018年度の「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」は、協賛企業の皆様、各大学等関係者の皆様のご協力を得て、経済産業省共催、日本商工会議所および公益社団法人経済同友会後援にて、下記のとおり開催されました。

2018年12月の各地区予選から勝ち上がった8チームが出場し、熱のこもったプレゼンテーションによって活動プロセスと成果、活動をおして学んだことについて発表されました。受賞されたチームはもちろん全チームの活動が、参加された皆様にとって今後の社会人基礎力強化のヒントとなり、大会が相互研鑽の場となったことを願っております。

### 開催概要

実施日時 2019年2月19日(火) 12:00～17:00

実施場所 拓殖大学 文京キャンパス E館1階 後藤新平・新渡戸稲造記念講堂

審査員 審査員長: 実践女子大学 文学部国文学科 教授 深澤晶久氏

審査員: リクルートワークス研究所 主幹研究員 豊田義博氏  
 株式会社東和エンジニアリング 執行役員 西上友規氏  
 経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室長 能村幸輝氏  
 立教大学 法学部 特任准教授 薬師丸正二郎氏  
 日経HR コンテンツ事業部長 渡辺茂晃氏 (以上、審査員は50音順)



### 出場チーム・発表テーマ・大会結果

地区	大学名	テーマ名	大会結果
北海道・東北	福島学院大学短期大学部 情報ビジネス学科	阿武隈急行線30周年記念事業の支援を目的とした「はちみつビール」クラウドファンディングの企画運	
関東	創価女子短期大学 現代ビジネス学科	文通による不登校支援～Let'sアナログマジック～	大賞
	千葉商科大学 人間社会学部人間社会学科	真間あんどん祭り	
中部	名古屋経済大学 法学部法学科	創作料理沖縄居酒屋ちゃんぷる ～沖縄料理で地域活性化を目指して～	
近畿	近畿大学 経営学部	サントリー×古殿ゼミ・産学連携プロジェクト ～若者の自販機離れをいとめろ！～	
	帝塚山大学 現代生活学部食物栄養学科	地域振興支援に挑戦するTEZUcafe(学生レストラン)4期生 ～最終章 歴史からの挑戦～	準大賞 協賛企業賞
中国・四国	松山大学 経済学部経済学科	地域ファンドによる資産形成と地域活性化を結び付けるプロジェクト	準大賞
九州・沖縄	福岡大学 経済学部産業経済学科	就職活動	



- ①大賞 創価女子短期大学
- ②準大賞 松山大学
- ③準大賞 手塚山大学
- ④協賛企業賞 帝塚山大学
- ⑤大会審査時間中に行われた交流



[https://www.mda.ne.jp/kisoryoku/2018\\_kessyo.php](https://www.mda.ne.jp/kisoryoku/2018_kessyo.php)

## 6 2019年度 社会人基礎力育成グランプリ 開催予定

グランプリ委員会では、本年度も大学生向けの社会人基礎力育成グランプリを開催する計画です。開催時期は例年どおり、参加受付の締め切り2019年10月末、予選大会12月8日(日)、ただし地域によっては12月7日(土)、グランプリ大会2020年2月下旬(東京)を予定しています。

本年度の大会より、参加応募時の記載事項の見直しを行う予定です。参加チームの取り組み、および成長の様子などについて、より詳しい情報発信ができるようにしたいと考えています。これまでは、平成25年度大会からの運営が応急的な引き継ぎであったこともあり、応募書類を簡素化してきました。法人化による運営への変更を機に、応募書類の見直しを行い、情報発信と審査の充実につなげていく予定です。

2006年に経済産業省より発信された社会人基礎力。未来をつくる若手のリーダー育成に注力している当社においては、研修を開発する際の指導要領のようなメッセージでした。特に3つの能力は、チームで働く力・皆一緒の○、前に踏み出す力・前に進むの△、考え抜く力・広い考えの□。○△□のバランスのとれたフレームワークとしてもインプットいたしました。同時に、12の能力要素は、若手だけでなく、中堅、シニアも含めた社会人のアセスメント指標として活用しています。私自身は、具体的な行動や言葉で仲間への働きかけを増やすことにしました。

さらに「人生100年時代の社会人基礎力」として、自己を認識し、リフレクションする。いいですね。一日一日をふりかえり、自分を内観することで、成長への気づきを獲得する。そして何を学ぶか・どのように学ぶか・どう活躍するかの視点で3つの能力を発揮する。以前、「学ぶ」とは誠実を胸に刻むこと、と教わりました。自分自身を中心におき、そして、目的を意識し、どう成長するかの視点が付加されたようです。これから社会人となる学生さんも含め、ライフシフト時代に、それぞれの年齢やタイミングで新たな航海に出る社会人を応援する海図のようです。

最近、どんな業種の方でもICTリテラシーを身につける事が必要になっているようです。人は道具や文字、言語や文章、食べ物や乗り物、学問や芸術、成長に応じて社会をつくるアイテムを発明・発見してきました。令和の時代、よりICTが社会基盤となっています。出会う、つなぐ、皆で考える、皆でつくる、皆で利用する、という分野でもICTを利用した新しいやり方が生まれています。新しいやり方においても、社会人基礎力が通底していることが大切だと思います。

当社では、更に社会人基礎力を活用させていただき、個々に成長し、あの人にまた会いたい、あの人と仕事をしたいと、覚えていただける社員を増やしたいと思っております。

<株式会社ウチダ人材開発センタ>

内田洋行グループ企業の1社。ICTを軸とした企業向け研修サービスと人材紹介サービスにおいて、30余年の経験と実績を持つ。「未来をつくる人を育てる・未来をつくる人に出会う」ことを大切に、次代のICT社会で活躍する若手リーダーの育成と、組織で活躍する人材を紹介。学校現場においては、教育の情報化やICTを活用した授業、社会で活躍する人材育成に注力。



## Profile

1978年、(株)内田洋行入社。情報分野の営業の後、2005年より(株)ウチダ人材開発センタにて勤務。実家が本屋であることから、本はよく読む。良い本を紹介してくれる方は特に大切にしている。「あ、これモーツァルトだね。」と言いたいばかりにCDを集め、休日は息を切らしながらテニスボールを追う。不易流行を大切に、相互成長を活動の糧とする。

## 7 研究所員募集

リカレント委員会では、社会人基礎力を実践的視点から深め、その有効性を高めることを目的に、「実践・社会人基礎力研究所」を開設しました。それに伴い、研究所員を募集中です。人生100年時代の社会人基礎力を「仕事（就労）と学び」を繰り返す、スパイラル的「リカレント教育」を推進し、企業人材育成と個人の成長に寄与したいと考えます。下記要項を参照いただき、「企業・大学」「個人」のご応募をよろしくお願い申し上げます。

### 募集要項

目的	現役・OBの実務経験者が基礎力を実践的視点から分析・深耕し高める。
テーマ	①「実践・社会人基礎力」を深める ②女性による「女性活躍推進」研究
募集人数	研究員：一期生20～30名（予定）／現役・OB&OG 男女年齢不問。
登録費用	①法人5万円（枠2名）・②一般3万円の寄付協賛金を充当します。
選考基準	「職務経歴」確認。目的を理解し、意欲的な継続的活動が出来る人。
活動日程	（第一期）；2019年4月～2020年3月<1年間>
研究活動	定例&随時研究会開催。（原則チーム&個人活動とします）
成果発表	中間報告会（9月）／最終発表会（3月）／「研究報告書」刊行・公開。
名刺肩書使用	「リカレント委員会・実践社会人基礎力研究所」研究員。 実務経験職歴・研究テーマに応じて「特命研究員」「エグゼクティブ研究員」等使用。

お問合せ・お申込はこちら

メール申込

y.shibahara@nifty.com

問合せ先

090-3477-7277（石田）

090-7227-2458（芝原）

## 8 論文募集

研究委員会では、「社会人基礎力」に関わる研究、事例報告など、広く社会と共有するべく、協議会機関誌『社会人基礎力研究』を創刊いたします。皆様からの投稿を募集しておりますので、奮って応募ください。

### 募集要項

投稿締切	2019年10月1日（月）17:00
原稿内容	①研究論文 ②研究ノート ③事例報告 ④評論 ⑤その他
提出先	社会人基礎力協議会事務局（メディア総研株式会社内）
提出方法	ホームページより投稿規定をご覧ください。 <a href="https://www.mda.ne.jp/kisoryoku/">https://www.mda.ne.jp/kisoryoku/</a>



## 編集後記



社会人基礎力協議会News第1号はいかがでしたか？ 初回につき、当協議会活動のご紹介が主になりましたが、今後、社会人基礎力強化に向けて、それぞれの職場、教育現場、地域社会での実践に役立つ情報提供を目指します。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などお待ちしております。（担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅）